

Ⅲ－２ 市民意見交換会の概要

各地域の市民から「習志野市らしさ」や「より豊かな」まちを継承していく上で必要なことなど、計画策定に向けた意見を直接伺い、展開していく施策等に反映することを目的に実施しました。

【テーマ】

習志野市の未来をみんなで考えてみませんか～後期基本計画策定に向けた市民意見交換会～

【日時・会場】

第1回：令和元年6月1日（土） 午前9時30分～11時50分 実籾CH3、4

第2回：令和元年6月9日（日） 午後1時30分～4時 市庁舎GF会議室

【ファシリテーター（全体進行役）】

習志野市公有資産活用まちづくりアドバイザー 菊池広人氏

（東北学院大学地域共生推進機構特任准教授、NPO 法人 いわて NPO-NET サポート事務局長）

【参加者】

合計23人（第1回 11人、第2回 12人） ※うち、無作為抽出対象者：12人

【意見交換会の流れ】

＜セッション1＞

- ・行政及びファシリテーターから、後期基本計画の策定に向けた背景等を概説
- ・グループごとの話し合いの前提として、市担当者が資料に基づき、施策を説明
- ・施策に関するグループ内での話し合い、意見交換
- ・担当者からの説明を聞いたうえで、グループの各個人がその施策に対する点数をつけ、その理由について意見交換
- ・各テーマについて、これまでの情報提供や上記の話し合いを受けて、習志野市の未来に向けて、「A」か「B」の2案（前提：どちらも正しいが選択が必要）を選択し、グループ内で意見交換

＜セッション2＞

- ・「習志野らしさ」や「習志野らしさを生かしつつ、自分らしく暮らすために、やってみたいこと、楽しみたいこと、関わりたいこと」などについて
“子育て”、“高齢者”、“環境”（以上第1回），“教育”、“都市整備”、“危機管理・防災・防犯”（以上第2回）
をキーワードに自由に話し合い、意見交換



当日の主な意見から

【セッション1： A or B 】

～ テーマ 「公共施設再生」 「行政の情報発信」 「ごみの受益者負担」 ～

- ・廃止される施設の利用者や周辺住民に対する配慮も必要であり、移動手段の検討や、人口増加策、民間との連携などの対策をしっかりとしないといけないが、その点が不足しているのではないかな。
- ・人口減少が進む中で、公共施設の総量を減らすことはやむを得ないとも思う。
- ・『減らす』というより『効率的な都市経営の実現』や『無駄をなくしていく、そのために民間ノウハウを活用する』という結果が施設の削減なのではないかな。
- ・受益者負担もある程度必要。何もかも無料は、ちょっといかがなものか。タダなら使おう、がないとは言えない。少しくらい負担しても。
- ・このこと（公共施設再生）を理解してもらうための行政からの情報発信がまだまだ足りない。
- ・情報をどうすれば受け取れるのか。でも、私たち自身も聞きにいけない面がある。
- ・もっと市民、巻き込んでいいと思います。広報活動大事
- ・減少幅が少なくなっているとはいえ、ごみの量は減少しているのだから(受益者負担は)不要。
- ・(ごみの) 減量のための分別等、個人のマナーに頼るのは限界がある。最終処分を他の町にお願いしていることなどを考えても、受益者負担はやむを得ない。
- ・受益者負担の前にもっと啓発努力が必要。まだまだ足りない。



【セッション2：習志野市らしさについて 大切にすべきこと、残すべきこと】

～ テーマ 子育て、高齢者、環境 、教育、都市整備、危機管理・防災・防犯 ～

子ども・子育て

音楽のまち、ならしの	好きでもキライでも教育ではなく、そこにあるものとして
音楽 → ツキ抜けてほしい	音楽の取り組み 音楽教育 音楽（心が豊か）
公立らしからぬ教育への投資（音楽、スポーツ）	スポーツクラブ
素朴な子ども多い → らしさ	子どもたちが自由に大きくなること
自然との関わり 外でのあそび	自由に安全にあそぶことができる 地域子ども会
食を通じた地域と歴史の理解（あやほまれ、ならしのソーセージとか）	
親の後ろ姿	“つ”のつく年齢までに（1つ～9つ）“もったいない”“ありがとう”を教える

高齢者 ゆたかに年齢を重ねる	
尊厳	今まで習志野を引っ張ってきた方が、安全で安心できるまち 高齢者に対して種々を考えて下さる
サークル活動／地域のつながり	生涯学習、活動 町内会への積極的参加
受身になる高齢でなく貢献できる高齢	経験を活かした活躍
自分の足で行きたい所に行かれる（交通）	健康教育 てんとうむし体操
市からの放送（迷子）	

環境（生活・自然）	
ほどよさ	ちょうどいい感じをたもって
谷津干潟（自然、生きもの、なりたち とか）	自然環境、安全、防犯 自然を残す 町全体が自然であることを残したい
ハミングロード	春の桜が見られる 大きめの公園
市で花の種、苗を配布しているのは大変良いこと	
家庭農園（本格的な）	住む近くに畑もある 畑など自然環境
川が無い、林が無い、森が無い 習志野	与えられるものではない 皆で創り上げていくもの
資源（ガス、水道）	習志野独自のブランド 水、ソーセージなど ソーセージおいしい…
交通の便 電車の便	買い物しやすい（千葉市が多いけど）
町内会が元気（しらかば町会）	学生が多い 公共サービスを平等に

教 育	
教育の質・レベル	子どもたちが元気な所なので小中学校は残してほしい。
多様性の教育、自分ごと化 identity communication	住んでるまち Nature について考える
音楽の街、文教都市 質、レベル、スポーツ、干潟、etc.	スポーツ、音楽はなんてステキなの。 文武両道、リサイクル 習志野文化ホール残してほしい。
スポ少—体力低下が心配。音楽—No.1 でなくていい。皆が経験できることが大事。	
歴史的なもの（谷津干潟、貝塚…）歴史史跡、干潟や貝塚等への課外授業、歴史のある史跡、 公民館、図書館	文教都市だという触れ込みの割には図書館がいまいちではないかと思った。 学生が勉強できるような大きな図書館があってほしい。ギャンブル施設が少ないのもよい。
習志野の歴史 名前の由来「習志野」のブランドを大事にしたい。	大学、有名な人
学校の中に保育園があること	

都市整備

公園・遊歩道・マラソン道路はそのまま維持してほしい。公園・交通が便利なこと まちのかたち 公共施設 景観、広い公園、緑、人とのつながり 谷津干潟残してほしい。
コミュニティバスの運行、クリーンセンター、リサイクルプラザ 藤崎付近の道路が危ない
J R 津田沼の商業施設だけは衰退してほしい。(京成付近は衰退している)
複合化施設、コンパクトでもいい。効率よく動ける。
自然がたくさんあるので四季折々楽しめるのが嬉しい。旧鴛田家もいいです。旧住宅とかの保存 にも習志野の良さを感じる。住民の便利さもあると思う。自然・便利・環境など 歴史
どことも合併しないでほしい。千葉市習志野区は×。

危機管理・防災・防犯

防犯パトロール、子供の安全・自己防衛方法 通学路の見守りとかもよくやってくださるので、 安心しています。市内でも地域差あると思うが、安全安心への意識は高いと思う。事件がない
行方不明者のマイク放送は続けてほしい。 帰宅放送を知らせること
自助・共助・公助の推進、人が街にかかわる事(町会やボランティア etc.) 3世代 communication の形態 どの世代の人ともつながれる。
安心・安全 まちの防災活動 ◎優しい人が育つ事 災害対策
埋立地→地震等→液状化対策

【参加した感想・発見したこと】

- ・ 習志野はみんな、ちょうどいいと思っている ・ これからは公共+差別化+ビジネス視点で
- ・ 習志野市でもお金のかかることがたくさんあることを再認識しましたが、将来の子や孫のためにも、それこそ、安心・安全な生活が送れたらと思います
- ・ それぞれの世代と環境で、習志野市に対する思いはちがう
- ・ 色々な人のやりたいことを満足するのは大変だと感じました
- ・ 小さい習志野 コンパクトにぎゅっとつめこめ！！
- ・ 子供たちの“ふるさと”になる場所、子供たちが大好きなふるさとになってほしい
- ・ 住みやすいと市民は思っている。今があるので、「面白いね」が生まれる事を期待します。
- ・ 面白い事や笑顔には人が集まると思います
- ・ 多くの人に知られ、満足度の高い市になってほしい
- ・ 愛着と人口増加をどうつなげるかが、一つの力ギになると思う
- ・ 習志野市に住みたいと思わせるものをつくるのが重要だと思う

